

No.13

ケミカルデザイン

反応や構造の化学的制御を活かした機能材料創製を目指して

【オーガナイザー】

松田厚範
豊橋技術科学大学

伴 隆幸
岐阜大学

鎌田 海
長崎大学

是津信行
信州大学

【セッション概要】 化学反応を意識したケミカルプロセスは、様々なスケールの興味深い構造、低次元ナノ構造、それらの自己組織化による高次構造の構築を可能にする。また、そのプロセスの特徴を有効に利用することで、省エネルギー、低コスト化、高性能化、新機能創出などにより、機能性材料の創製に革新をもたらすものと期待される。本セッションでは、液相プロセスや気相プロセスはもちろんのこと、固相プロセスも含めた様々なケミカルプロセスや、それにより生み出される構造や機能に関連する研究発表を幅広く募る。異分野の研究者・技術者も参加する幅広い観点からの討論により、ケミカルプロセスによる機能性材料の大きな進展がもたらされることを期待する。

【セッションキーワード・トピックス】

ゾル-ゲル法, 交互積層法, 電気泳動堆積法, 陽極酸化法, 水熱合成, メカノケミカル合成

【招待・依頼講演者】 招待講演: 打診中

依頼講演: 作田敦(大阪府立大学), 柳田さやか(山梨大学), 矢田光徳(佐賀大学)ほか

【発表形式】 口頭発表・ポスター発表を募集します。申込件数により、発表形式の変更をお願いする場合があります。

【共催・協賛等(予定)】 日本化学会, 日本ゾルーゲル学会, 高分子学会, 応用物理学会, 電気化学会, 粉体粉末冶金協会, 粉体工学会, 日本金属学会

【連絡先】 ban@gifu-u.ac.jp (伴 隆幸)